

## 新たに棋士となった山川泰熙四段へ「J:COM賞」贈呈 — 将棋界を担う次世代を支援 —



<「J:COM賞」贈呈式の様子>

JCOM株式会社 常務執行役員 田口和博(左)、山川泰熙四段(右)

JCOM株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木陽一)は、2024年7月27日(土)に宮城県仙台市で開催した「第13回J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」東北大会において、今春、新たに棋士となった山川泰熙四段へ「J:COM賞」を贈呈しました。

J:COMは、「J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」が第10回を迎えた2021年より、日本将棋連盟の棋士の養成機関である「奨励会」への支援として毎年寄付を行っています。また、四段に昇段し棋士となった方々に今後の活躍を祈念し、「J:COM賞」として記念品(仕立券付スーツ布地)を贈呈しています。なお、本賞の授与は、将棋大会に参加する子どもたちの目標となる存在になってほしいとの願いから、「J:COM杯 3月のライオン 子ども将棋大会」の会場を中心に行っています。

山川泰熙四段は2010年の小学6年生の時に小学生名人戦で優勝して名人となったのち奨励会に入会し、14年間の在籍を経て念願のプロ入りを果たしました。山川泰熙四段と同じく、今春に棋士となった高橋佑二郎四段へも関東大会での贈呈を予定しています。

J:COMは、「次世代のチャレンジ支援」の一環として、子ども将棋大会の開催、奨励会への支援、「J:COM賞」の贈呈を通じ、将棋界を担う次世代を支援しています。今後もこれらの活動が続け、夢に向かって挑戦する子どもたちや、プロの棋士という狭き門に向かって一途に取り組む若者たちを応援してまいります。

## 【山川泰熙四段の受賞コメント】

>「J:COM賞」を受賞にあたり感想

J:COM賞については、過去受賞された先輩棋士から話を聞いていて、大変ありがたいと感じていました。奨励会は日の当たらない場所で、なかなかフォーカスされることがないため、スポットライトをあてただき自分の努力を評価していただけることを素直にうれしく思います。

いつか棋士になって出身である東北に帰ってきたいと思っていたので、今回目標が達成できました。この大会も多くの方が参加してくれましたが、もっと将棋人口を増やし、さらに子どもたちの将棋大会に人を呼べるよう、東北のみならず全国で子どもたちの普及に役立ちたいと壇上で感じました。

>「子ども将棋大会」について

J:COM杯はまとまった地区大会があり、全国大会につながる形式です。予選を経て本選があるという点は公式戦にも似ており、特別なものと感じます。同じ地域の強い子と指すのも楽しいですが、全国の子たちと指せる機会は貴重です。将棋はひとりひとり微妙に違ってくるもので、さまざまな人と対局する中であらたな発見や楽しさがあるものだと思います。自分も小学生の時は、全国各地の強者とさせるのが楽しかったことを思い出しました。

>憧れの棋士について

憧れの存在は、羽生先生です。将棋は2人でつくりだす芸術的な面があると思いますが、羽生先生の将棋は芸術点がとても高いと感じます。私も、将来的に多くの人を魅了できる将棋指しになりたいです。また、今の将棋界には、藤井七冠、伊藤叡王など、多くの手ごわい相手が上位にいますが、勝負師として、上を目指さないと意味がないと思っています。将来的にタイトルに絡む活躍できるよう、まずは若手の棋戦で優勝したいです。

### <2024年度 J:COM賞贈呈棋士>

山川泰熙四段(7月27日(土)／東北大会)

高橋佑二郎四段(9月16日(月・祝)／関東大会)

※10月昇段の棋士については、10月14日(月・祝)／東海大会にて贈呈予定

### <第13回J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会 概要>

「J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」(主催:JCOM株式会社、株式会社囲碁将棋チャンネル／共催:公益社団法人日本将棋連盟／協力:白泉社)は、小中学生に将棋の楽しさを知ってもらうとともに、将来の棋士を目指す小中学生の登竜門となる大会を目指して、2012年にスタートしました。今年で13回目を迎えます。

大会名	「第13回J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」
クラス	全国クラス: 上級者～有段者レベルの参加者によるトーナメント形式の将棋大会。各地区大会の成績上位者が全国大会に進出 交流クラス:将棋を楽しく指すクラス(地方大会の入賞者には大会ごとに賞品進呈)
地区大会	2024年7月21日(日)／北海道大会(北海道札幌市) 2024年7月27日(土)／東北大会(宮城県仙台市) 2024年8月12日(月)／九州大会(福岡県福岡市) 2024年8月24日(土)／関西大会(大阪府高槻市) 2024年9月16日(月)／関東大会(東京都台東区) 2024年9月23日(月)／中国大会(広島県広島市) 2024年10月14日(月)／東海大会(愛知県名古屋)
全国大会	2024年11月2日(土) 会場:東京・将棋会館
特設サイト	<a href="https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/">https://www2.myjcom.jp/special/user/event/kids-shogi/</a>
アーカイブページ	過去の大会記録や、全国大会決勝戦の棋譜、全国大会特番映像などが確認できるアーカイブページを公開しています。是非ご覧ください。 <a href="https://www.jcom.co.jp/corporate/sustainability/community/shogi/">https://www.jcom.co.jp/corporate/sustainability/community/shogi/</a>

## JCOM株式会社について [www.jcom.co.jp/](http://www.jcom.co.jp/)

JCOM株式会社(ブランド名J:COM、本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社65局を通じて約563万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,229万世帯です。番組供給事業においては、14の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は2023年3月末現在の数字です。

### J:COM のサステナビリティ

J:COMでは、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4つのマテリアリティと、さらに具体化した12のサブマテリアリティを2023年度に再設定しました。

#### <本事業と関連するマテリアリティ>

**マテリアリティ:「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」 サブマテリアリティ:「次世代のチャレンジ支援」**



私たちは企業理念を実現するための大切な価値観に「CHALLENGE(挑戦)」を掲げています。未来を担う次世代の教育・文化・スポーツなど多岐に渡る分野での挑戦を支援し、地域社会の活性化に貢献していきます。